

いたわり

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会 情報紙

〔発行人〕鈴木一良〔編集・発行所〕（一社）茨城県福祉サービス振興会 〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 番地
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館（茨城県総合福祉会館）5階 TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

No.65

発行 2026.1

こあいさつ



一般社団法人
茨城県福祉サービス振興会
会長 鈴木 一良

明けましておめでとうございます。日頃より茨城県福祉サービス振興会の活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

福祉・介護業界におきましては、人材不足が慢性化し職員一人ひとりの負担が増す状況が続いております。処遇改善の遅れやどうしても人の手に依存せざるを得ない職務特性がこの問題をさらに深刻化させています。しかし、そのような厳しい環境下にあっても、利用者の尊厳を守り地域を支え続けている業界として誇りをもって前進したいものです。

本振興会としては、現場の声を行政や関係団体へ届け、処遇改善の一層の推進と業務の効率化・標準化、



茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県福祉サービス振興会の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、我が国では加速度的に人口減少が進む中、「団塊の世代」の方々全てが75歳以上となるなど、本格的な超高齢社会を迎えております。

そうした中、皆様には、日頃より社会に欠かすことのできない福祉・介護関連サービスの提供にご尽力いただ

ICT・介護ロボットの導入支援など、負担軽減に資する取り組みを更に強化してまいります。同時に、業界で働く方々が「この仕事を続けたい」と思える魅力ある職場づくりに向けた研修体系の充実やキャリア形成支援にも積極的に取り組んでまいります。

昨年は、本振興会の法人事業である講座・研修事業の受講者数において、前年を大きく上回る実績を上げております。また、茨城県の委託事業である介護普及・実習センターの運営、介護職員腰痛予防対策推進事業、要介護認定調査員研修等も多数の参加者を得て順調に実施することができております。

福祉を担う人材が安心して働き続けられる環境を整えることこそ、地域福祉の未来を拓く第一歩であります。本年も、皆様と共に持続可能な福祉サービスの充実の実現に向け努力をしてまいります。

本年が皆様にとって希望に満ちた一年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

いておりますことに深く感謝申し上げます。

県といたしましては、人口減少による危機を乗り越えていくため、現在、策定を進めている新たな総合計画に基づき「新しい豊かさ」「新しい安心安全」「新しい人財育成」「新しい夢・希望」のチャレンジをさらに進化させるとともに、特に、健康長寿日本一を目指し、高齢者の皆様一人ひとりが、健康ではつらつと活躍できる地域社会づくりに力を入れ、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

結びに、皆様にとって、本年が更り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

介護現場において介護テクノロジーを導入・活用するためには 導入検討の初期段階で確認すべき事項について

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
人間社会拡張研究部門 生活機能ロボティクス研究グループ

主任研究員 工学博士 梶谷 勇

物価高騰などの緊急性の高い課題がある中で、今後の介護サービス提供体制の維持に対する危機感についての言説も、既に多くの場面で目にされたり、耳にされたりしていると思います。業務改善あるいは生産性向上といった言葉が用いられ、少ない労働人口による介護サービスの提供体制を実現することが期待されています。その一環として介護テクノロジーと呼ばれる機器やシステム等の活用も期待されており、本稿ではそれらの導入に向けて知っておいていただきたい事項を紹介いたします。

「業務改善・生産性向上」という言葉との向き合い方

介護分野において業務改善・生産性向上という言葉が用いられ始めていますが、介護サービス提供事業者の中には、様々な姿勢でこれらの言葉と向き合われている方がいらつしやると思います。例えば、(a)自分たちだけで「業務改善・生産性向上」できる・既にできている方、(b)介護分野に「業務改善・生産性向上」といった言葉はなじまないと思われる方、あるいは(c)「業務改善・生産性向上」をやりたいけど自信がない・余裕がない方などいらつしやるのではないのでしょうか。本稿では、それぞれの皆様を知っておいていただきたいポイントを説明いたします。

「業務改善・生産性向上」に向けて試していただきたいポイント

まず(b)(c)に該当する方々の中には、業務改善・生産性向上という言葉から

何かすごいことをしなければならぬと思われているかもしれません。日ごろから業務改善・生産性向上を実施されているのを忘れていて、あるいは気がついていないだけかもしれません。

以前、ある介護事業者に協力をいただき、介護現場での日ごろの工夫について調査させていただいたことがありまます。その際、多様な工夫を日ごろから実施されていることがわかりました。日ごろの小さな工夫の数々が、業務改善・生産性向上につながります。まずは小さな工夫を見つけて事業所内で称賛する活動を行ってみるのはいかがでしょうか。そうすることによって、事業所内に工夫をすることに對するポジティブな感情が広まり、その結果として、大きな業務改善・生産性向上につながると思います。

介護テクノロジーの導入検討に必要な観点

(a)に該当する方々は、既に介護テクノロジーを効果的に活用されているかもしれません。また(b)(c)に該当する皆様の中にも介護テクノロジーの活用を考えられている方もいらつしやると思います。ここでは、より有効に活用いただくためにわれわれが整理した8つの観点を紹介します。8つの観点は、介護テクノロジーが有効に活用されないケースをいくつか想定し、そこから逆算して有効に活用されない結果に至る可能性のある要因を分析することによって、導入前に事前に検討すべき8つの観点として整理しました。8つの観点

とは「目的」「対象者」「機器」「安全」「環境」「業務」「職員」「教育」です。

「目的」の観点

目的が不明確な状態で介護テクノロジーの導入を検討したり、導入したりしてしまうと、その効果を確認する際に、何を確認すればいいのかわからなくなります。補助金申請の際など、あわせて目的が不明確なままに申請されることはないでしょうか。

「対象者」の観点

介護テクノロジーを導入したのに、対象となる人がいなくて使っていないケースを耳にすることがあります。介護テクノロジーは誰もが必要というわけではなく、製品ごとに対象となる人が限定されます。事前に対象となる人を確認しないと、せっかくの介護テクノロジーが無駄になってしまいます。

「機器」の観点

検討する機器について、先行して使用する事業所の情報があるか、事前に試用体験できるか、導入時の費用やトレーニングコスト、工事の要否など、機器についても事前に確認したほうが良い点が多くあります。

「安全」の観点

市場にあるすべての製品が安全に配慮されて開発されているとは限りません。また、そもそも完全に安全な機械もありません。どこまで安全に配慮された製品で、どのようなリスクが残っているのか、安

全に使用するための条件など確認する必要があります。

「環境」の観点

介護テクノロジーの多くは、使用場所の環境との相性があります。大きな制約、電源の位置などを事前に確認する必要があります。

「業務」の観点

新しい機械やシステムを導入する際は、業務の妨げとならないことを確認する必要があります。必要に応じて業務フローを変更しなければならぬ場合が多いです。業務改善・生産性向上とあわせて介護テクノロジーの導入について検討することがおすすです。

「職員」

機器を扱うことになる職員側の受け入れ準備ができているかを確認したほうが良いです。もし準備ができいない場合は丁寧な説明により理解してもらう必要があります。

「教育」

新しい機器やシステムを有効に、安全に扱うには、使い方の教育が必要です。教育体制を事前に整備しておいたり、代理店等の介護サービスの活用について考えたりした方がよい場合もあります。

このような8つの観点について事前に検討しておくことで、介護テクノロジーを有効に活用できると思います。チェックシートを準備していますので、必要があればご連絡ください。産業技術総合研究所柏センターでは、厚生労働省の事業で柏りビングラボの活動を実施しています。お気軽にご相談ください。よろしくお願いたします。

介護実習・普及センターのご案内

福祉用具展示ホールについて

福祉用具展示ホールでは、車いす、介護ベッド、杖等の福祉用具、介護ロボット等約400点を展示しております。見て、触れて、お試しください。ぜひ来館ください。貸出可能なものもございます。(販売は行っておりません。)

- ・場 所 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 2階(水戸市千波町1918)
- ・開館時間 9:00～17:00(土日祝日除く)
- ・電 話 029-244-4425

【新展示品の紹介】

●リトルターンⅡ 抑速プラス(展示協力:アロン化成㈱)

小さく回れて小さくしまえる抑速機能で安心歩行。

- ・坂道では自動で抑速ブレーキが作動して加速を抑えます。
- ・急加速時に抑速ブレーキが作動して、転倒を予防します。
- ・利用者の歩行能力・路面状況に応じて、タイヤの首振り設定が360°、左右45°、固定(直進)から選べます。

<価格>108,900円(税込)※介護保険貸与対象品(月500円程度)



●イイアイズ(展示協力:㈱オレンジアーチ) 限りなく小さい身体動作で自分の意思を伝達できます。



- ・重度障害者向け意思伝達装置
- ・操作は、利用者や介護者、介護に関わる方がわかりやすく、簡単でシンプルに行えます。

<イイアイズでできること>

- ・スイッチ、視線、タッチや併用入力
- ・パネルの大きさ、文字の位置等編集
- ・赤外線による家電の操作 他

<価格>509,400円(非課税)※補装具費支給対象品

●ユニバーサルデザイン靴下(展示協力:㈱マリモ)

すべての人が足元のおしゃれを楽しめます。

- *ほのん:「つの」を引っ張って片手でスルッと楽に着脱できます。

価格:1,650円(税込)

- *みちる:点字・文字が浮き出ているので触って色が確認できます。

価格:1,760円(税込)

※いずれもカラーバリエーション豊富です。



●シャワープロテクタ®

(展示協力:(合)ネックガードフロンティア)

安全な入浴をサポートします

- ・気管切開患者さんの入浴補助装具
- ・特許取得の二重構造により、患部へのシャワーの飛沫や頭部から滴る液体の侵入を防ぎ、呼吸を確保します。

<価格>7,500円(税込)

※防水シール15枚セット



【貸出 DVD・図書について】

介護技術関連のDVD、図書の無料貸出を行っています。(ホームページ内で貸出の一覧をご覧ください。)

- ・貸出条件 ①お一人様1回3点まで ②貸出期間 2週間(延長可) ③送料負担で送付可能

●おススメ図書 利用者・家族の心をひらく「聴き方」「声かけ」のコツ 大谷 佳子 著

利用者さんとのコミュニケーションについて、マンガとイラストでユル〜く解説。かつポイントはしっかり押さえられていますので、疲れていても楽しみながら学ぶことができます。

【団体見学について】

展示ホールでは団体様向けに福祉用具の紹介・使い方の説明を行っています。(要予約) バスの駐車も可能ですので、福祉関係の研修会等の際ぜひお立ち寄りください。

特設コーナー展示

特設コーナーでは、月替わりでおススメの福祉用具の展示を行っています。

場所：セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 1階
1月 ポータブルトイレ 2月 歩行補助杖

(写真は昨年度のものです) ※協力：日本福祉用具供給協会茨城支部



令和8年度福祉用具専門相談員指定講習会について

“介護保険法” においての指定福祉用具貸与、または販売する事業所に従事する“福祉用具専門相談員”の要請を目的に開催します。福祉の業務に携わっている方、福祉用具に関心ある方等、どなたでも受講することができます。

- ・開催日 令和8年5月14日～16日、23日、6月4日～7日（試験日6月13日）
- ・開催場所 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館
- ・募集人数 20名（最少催行 10名）
- ・受講料 60,000円

*詳細は当会ホームページ、またはお問い合わせください。(029-244-4425)



弊社は、医療・福祉業界に特化した採用コンサルティングを行っておりま

皆様、はじめまして。株式会社よびこみや、代表取締役の市毛聖太（1988年生まれ）と申します。
私は新卒でアミューズメント企業での人事管理、人材紹介業の営業を経て、直近では医療法人の人事部長として8年間、現場の採用・組織運営に携わってまいりました。その中で感じた課題を解決すべく、2024年6月に弊社を設立いたしました。

「外部人事部」として、採用から定着までを伴走支援

す。人材紹介や求人媒体の単なる斡旋は行わず、「企業の外部人事部」として貴社に伴走するのが特徴です。
具体的には、広告費を抑えつつ「直接応募」を増やす仕組みづくりや、経営会議・面接への同席も行います。経営戦略とリンクした人事戦略を共に構築し、採用のみならず、職員の離職率低下や定着支援までトータルでサポートいたします。
人材課題にお悩みの会員様の良きパートナーとなるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



住所：水戸市南町3丁目3-35
Wagtail内

代表者：代表取締役 市毛 聖太

電話：080-1161-9756

ホームページ：

<https://sites.google.com/view/ichige/home?authuser=0v>

株式会社 よびこみや

新 会 員 紹 介